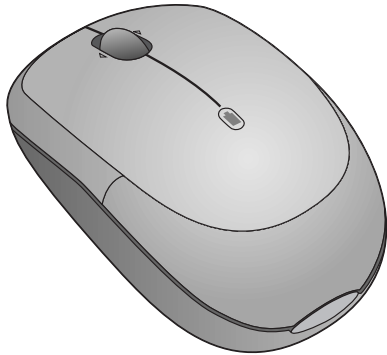


MA-LSW7シリーズ



ワイヤスレーザーマウス

最初に ご確認ください。	セレクト 内容	マウス本体	1台
		超薄型レーザー	1台
		単三乾電池 (テスト用)	1本
		ドライバディスク(Windows用CD)	1枚
		取扱説明書	1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

オンライン製品サポート

お問合せは弊社Webサイトより「サポート&ダウンロード」「各種お問合せ」「商品に関するお問合せ」のリンクをたどり、問い合わせフォームに必要事項を記入して送信してください。
Mouse Suiteのアップデートドライバをダウンロードする場合、弊社Webサイトに行き、ダウンロードできます。

ホームページ: <http://www.sanwa.co.jp/>



お問合せは弊社Webサイトからが便利です。
「サポート&ダウンロード」
「各種お問合せ」
「商品に関するお問合せ」よりサポートフォームに入力してください。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は無償修理いたしますので、保証書を製品に添えて弊社までお送りください。
- 次のような場合は保証いたしかねます。また、保証期間内での修理も受けいたしかねます。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - お客様ご自身による改造または修理があると判断される場合。
 - 故障の原因が取り扱い上の不注意によると判断される場合。
 - 天変地異、並びに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - 輸送途中の事故による故障及び損傷。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の料金及び諸掛かりはお客様のご負担となります。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は弊社までお問い合わせください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

サンワサプライ株式会社

2006.10現在

岡山サブライセンター 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX086-223-5123
 東京サブライセンター 〒140-8556 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX03-5763-0033
 札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX011-716-8990
 仙台営業所 〒980-0851 仙台市青葉区榴岡1-6-3 若宮ビル ☎022-257-4638 FAX022-257-4633
 名古屋営業所 〒453-0015 名古屋市中区権町16-7 ガジヤビル1F ☎052-453-2031 FAX052-453-2033
 大阪営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX06-6395-5315
 福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央ビル2-6 博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX092-471-6078
 金沢 ☎076-222-8384

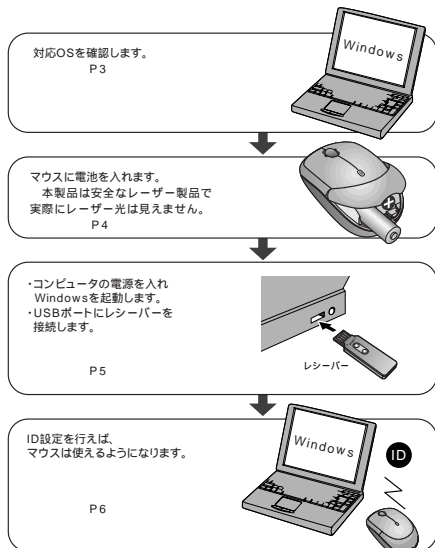
www.sanwa.co.jp

06/10/MTDsp

目次

- 1 ワイヤス鼠の接続の手順
- 2 特長 安全にご使用していただくために
- 3 警告 健康に関する注意
- 4 対応機種・OS
- 5 接続する前に必ずお読みください。
- 6 本製品をUSBポート接続する際の注意
- 7 BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合
- 8 マウスの準備(電池の入れ方)
- 9 マウスの接続(レーザーの接続)
- 10 IDの設定方法(ID設定方法はパソコンにマウスを識別させる作業です)
- 11 ドライバソフトをインストールする前にお読みください。
- 12 内蔵ポイントングデバイス用ユーティリティの切り離し
- 13 回避方法
- 14 ドライバソフトのインストール
- 15 本製品の使用方法
- 16 Mouse Suiteのコントロール ボタンのタブ
- 17 ホイール
- 18 ダブルクリック 方向 ポインタユーティリティ
- 19 Mouse Site
- 20 故障かな...と思ったら

ワイヤス鼠の接続の手順



詳細は各ページをご覧ください。

特長

このたびは、ワイヤスレーザーマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は2.7MHz RF方式のワイヤス鼠マウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、高性能レーザーエンジンを搭載した次世代のマウスです。光学センサーでは識別しにくかった光沢感のある素材の表面を認識することが可能で、様々なシーンで威力を發揮します。本製品は専用ドライバをインストールすることにより、ホイールボタン(スクロールボタン)を左右に傾けるだけで、横スクロールが可能なホイールコントロール機能を持っています。また、スクロールボタンを回転・クリックするだけで簡単に画面スクロールが行えます。



本製品は、単三乾電池1本で動作可能な省電力設計で、最大約4ヶ月間の長時間使用が可能です。

ご使用前にこの取説をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

安全にご使用していただくために

本製品は、IEC60825-1 Edition 1.2²⁰⁰¹、JIS規格クラス1レーザーポインタに準拠しています。本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。
レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けてください。
製品を分解したり、改造したりしないでください。
0 ~ 40 °C の気温環境でお使いください。
本製品に衝撃を加えないようにしてください。
保証規定をよく読み正しくお使いください。

警告

テレビ・ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたもので、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となるかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると推察されます。
ご使用のコンピュータシステムがテレビ・ラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合せてお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまます操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩などに負担が掛からないよう心がけてください。

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載パソコン
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
USBポート(Aタイプ)を搭載したパソコン。

対応OS

Windows XP・2000・Me・98SE・98

機種により対応できないものもあります。

この文章中に表記される他のすべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

接続する前に必ずお読みください。

本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、下記のような画面が表示されます。



USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が不可に設定されている機種もあります。

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel(インテル社)以外の場合もありますので、詳しくは本体(マザーボード)メーカーのサポートにお問合せください。

BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合

BIOS上のUSBをenable(イネーブル=有効)にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示されるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

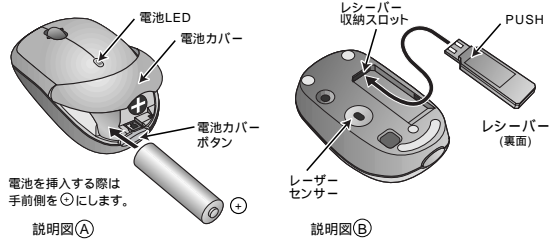
マウスの準備(電池の入れ方、電源のON/OFF、レーザーの収納)

1. マウスの電池カバーボタンを押して、電池カバーを開きます。(説明図④)
2. 付属の単三アルカリ乾電池を挿入し、電池カバーを閉じます。電池を挿入する際、電池の方向に注意(手前側が○)にしてください。
3. 電池LEDがしばらくの間、点灯します。これで電池の挿入は完了です。

本製品はIS規格クラス1に適合した安全なレーザー製品で、実際にレーザー光は見えませんが。

4. 電源をOFFにするには、レーザーをマウス本体に収納します。レーザーLEDが見えない状態(レーザー裏面を上)で、マウス本体のレーザー収納スロットにスライドさせながら収納します。(説明図⑤)
5. 電源をONにするには、レーザーの「PUSH」の部分指で押しながらレーザーを手前にスライドさせて取り出します。(説明図⑥)

長時間マウスを使用しない場合やマウスを持ち歩く際にレーザーセンサーが作動していると、電池が消耗しますので、レーザーをマウス本体に収納して、電源をOFFにすることをオススメします。
マウスの電池は、通常の使い方において最大約4ヶ月が目安になっています。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。)電池交換の際は、単三アルカリ乾電池をご使用ください。マウスの電池LEDが、赤色に点滅する場合は、電池が少なくなっていますので、速やかに交換してください。

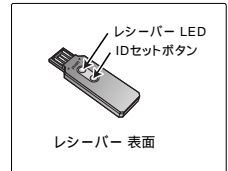


説明図(A)

説明図(B)



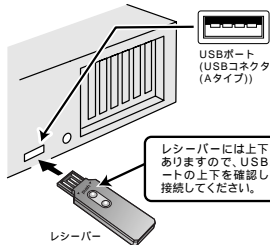
説明図(C)



レーザー表面

マウスの接続(レーザーの接続)

コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。レーザーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお薦めします。
レーザーをコンピュータのUSBポートに接続します。
自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。



レーザー

Windows XP・2000・Meの場合

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



Windows 98・98SEの場合

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。
Windows 98SE・98では、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード(もしくは他のマウス)が接続されている状態で行ってください。



新しいドライバを検索しています。USBヒューマンインターフェイスデバイス……次へ



検索方法を選択してください。
・使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)……次へ



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れずに……次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、✓ 検索場所の設定(L)
C:\WINDOWS\INF
もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
もし、上記の検索場所で見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows OSのCD-ROM(パソコン購入時に同梱)を挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。

マウスの接続(レーザーの接続)つづき



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス……次へ

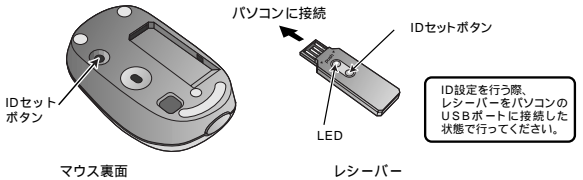
USBヒューマンインターフェイスデバイス……完了

接続が完了したら、ID設定方法(下記)へ。

ID設定方法(ID設定はパソコンにマウスを識別させる作業です)

重要(必ずお読みください)

レーザーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスが使える場合は、ID設定を行う必要はありませんが、マウスが使えない場合は下記の手順でID設定を行ってください。
もし、動作がスムーズでなかったり、また近い環境で本製品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくマウスが動作しなくなった場合は、IDの再設定とともに、電池交換もご検討ください。



【注意】ID設定を行う場合は、マウスとレーザーの距離を10cm以内に近づけて行ってください。

1. 指先もしくはペン先を使って(レーザーのIDセットボタン)を押します。
2. (レーザーLED)が点灯します。
3. (レーザーLED)が点灯している間に(マウスのIDセットボタン)をペン先を使って押します。
4. (レーザーのLED)が消灯します。
5. マウスを動かした際、(レーザーLED)が点灯します。これでID設定は完了です。

上記設定を行ってもマウスが動作しない場合は、電池が正しく入っているか確認してください。マウスの電池LEDが赤色に点滅する場合は、電池が少なくなっていますので、新しい電池に交換してください。
ID番号は256通りあり、自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際に、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。但し、同時に2台以上のマウスのID設定を行わないでください。
パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはマウスの電源をON/OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。但し、長時間放置した後など、マウスを動かしてもレーザーのLEDが点灯しなくなった場合は上記の設定をやり直してください。

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。

重要く必ずお読みください)

本製品に添付のドライバソフトがインストールされていない状態でも、マウスの基本的な機能は使えます。横スクロール機能、ボタン割付け等の特別な機能を使う場合、添付のドライバソフトのインストールが必要になります。

内蔵ポインティングデバイス用ユーティリティの切り離し

本製品添付のドライバは、各社PCにあらかじめインストールされている内蔵ポインティングデバイス用のユーティリティと併用できません。ユーティリティを切り離すか、添付ドライバをインストールなさらずにお使いください。

各ユーティリティによって切り離し方法が異なります。下記をご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・ソニー VAIOシリーズの場合
 デバイスマネージャ マウスでNXPADあるいは「Alps GlidePoint」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
 途中「このデバイスに適していない.....」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

東芝 Dynabookシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合
 アプリケーションの追加と削除より「マウスウェア」をアンインストールしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合
 アプリケーションの追加と削除より「IBM Trackpoint」をアンインストールしてください。

Compaq Armadaシリーズの場合
 アプリケーションの追加と削除より「Synaptics TouchPad」をアンインストールしてください。
 その後デバイスマネージャ マウスで「Synaptics TouchPad」を「標準PS/2マウス」あるいは「Microsoft PS/2 Mouse」にドライバを更新してください。
 途中「このデバイスに適していない.....」とエラー表示される場合がありますが、そのまま進めてください。

例) NEC PC98-NXの場合

NEC PC98-NXにマウスを接続すると

スクロールが動作しない。
 カーソルのスピードを変更しても、再起動すると元に戻ってしまう。
 スクロールの設定ができない。
 コントロールパネルのマウスが開かない。

などの症状が発生することがあります。
 これは、タッチパッドのユーティリティの影響です。

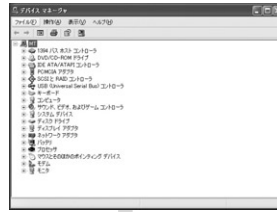
<回避方法>

WindowsXPでのマウスドライバの変更方法を示します。ここではNX PADを標準PS/2ポートマウスに変更する手順を例に取ります。CD-ROMやフロッピーディスク、インターネットから内蔵ポインティングデバイス用ドライバソフトをインストールされている場合は、この手順を行わないでください。

タッチパッドをユーティリティで「使用しない」にしている場合は「使用する」に変更してください。以下の要領でドライバの更新を行います。

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。つづき

下記はWindows XPでの一例です。OSや機種により多少画面表示が異なりますが、設定方法はほぼ同じです。



デバイスマネージャを開きます。コントロールパネルからシステムのプロパティを開くか、マイコンピュータのプロパティを開き、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。



マウスドライバのプロパティを開きます。ここではNX PADをダブルクリックします。



ドライバのタブをクリックし、続けて「ドライバの更新」のボタンをクリックします。



左の画面が出たら「ドライバの場所を指定する」にチェックして「次へ」をクリックします。

(9 ページに続く)

ドライバソフトをインストールする前にお読みください。つづき



ここでは左のラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。上を選択すると、選択肢に求めるデバイスが出てこない場合があります。

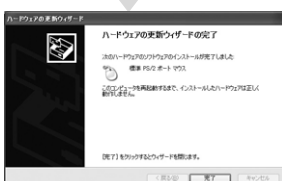
ここで求めるデバイスが出てくれば、選択して「次へ」をクリックします。求めるデバイスが見つからない場合、下のラジオボタンを押してに進みます。



左の画面が出たら「次へ」をクリックします。ドライバのインストールが行われます。CD-ROMを要求された場合は画面の指示にしたがって入れてください。



左のようなメッセージダイアログが表示されることがあります。「はい」をクリックしてください。



左の画面が出たら「完了」をクリックします。

以上で前準備は終わります。ドライバのセットアップを開始してください。(10 ページへ)

ドライバソフトのインストール

付属のドライバソフト(Mouse Suite)のインストール

Windowsを完全に起動させ、付属のドライバディスクをCD-ROMドライブに入れてください。Mouse Suiteセットアッププログラムが自動的に立ち上がります。もし自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」「ファイル名を指定して実行」 「D:\\$Setup.exe (DがCD-ROMドライブの場合)」でセットアッププログラムを立ち上げてください。あとは画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

Mouse Suite



ようこそ Mouse Suiteセットプログラムへようこそ。このプログラムはMouse Suiteをシステムにインストールします。 ----- 次へ(N)



マウス位置の選択 キーボード右側(右利きユーザー)(R) キーボード左側(左利きユーザー)(L) ----- 次へ(N)



インストールの開始 インストールの準備ができました ----- 次へ(N)



ハードウェアのインストール この段階でエラーメッセージが出る場合があります。「続行(C)」をクリックしてください。

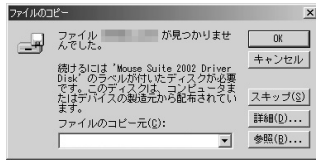


セットアップの完了 セットアップがMouse Suiteをインストールしました ----- 完了(F)

ドライバソフトのインストールつづき

セットアップ中に下記のようなダイアログが表示されることがあります。この場合「ファイルのコピー元」にインストールディスクのドライブ名を指定してください。

CDの場合は環境によって違います。ドライバCDがDドライブの場合を例にあげています。Dドライブ以外にCDが挿入されている場合は先頭の文字をそのドライブ名の先頭の文字に置き換えてください。

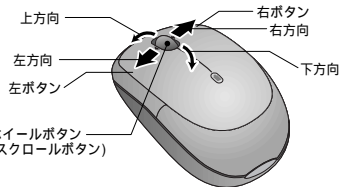


<Windows Me/98SE/98の場合>
d:\w98
<Windows XP/2000の場合>
d:\w2k

Windows 2000の場合、インストール作業中に警告メッセージがでる場合がありますが、インストール作業を継続していただいて問題ありません。

本製品の使用方法

本製品はホイールボタン(スクロールボタン)を左右に傾けるだけで、横スクロールが可能なホイールコントロール機能を持っています。またスクロールボタンを回転、クリックするだけで簡単に画面スクロールが行えますので、スクロールバーを頻繁に動かす表計算等で威力を発揮します。



左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックの動きを行います。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示もすることができます。

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを左右に傾け横スクロールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

スクロールモード

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、マジックローラーをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回させると、倍率が下がります。

11

Mouse Suiteのコントロール

マウスコントロールパネルを立上げる場合、下記に従ってください。

Windowsタスクバーに表示されているマウスアイコンをダブルクリックしてください。または、Windowsのスタートボタンを左クリックし、設定(S)の中のコントロールパネル(C)を選択してください。コントロールパネルの中のマウスアイコンを選択してください。

ボタンのタブ

Mouse Suiteは、マウスプロパティで使用したいタブをクリックすると、色々な機能を使う事ができます。

「ボタン」の設定

ボタンページを開くとマウスボタンの機能のカスタマイズができます。初期設定は以下で説明しています。



左ボタン:第一マウスボタン
右ボタン:コンテキストメニュー
ミドルボタン:クイック/オートスクロール
マウスの設定を変えた場合、下記に従ってください。

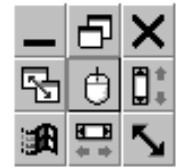
画像の中にあるボタンをクリックしてください。または、「ボタン(B)」リストの中からボタンを選択してください。選択したボタンがボタンリストとマウスアイコンの中に出ます。そして、「機能(F)」リストからボタンの機能を選んでください。(最低一つのボタンをメインマウスボタン(第一マウスボタン)の設定にしてください。)

マウスボタンの機能を初期設定に戻したい場合、「デフォルト値を使用(D)」をクリックしてください。ボタンの設定を確定する場合、「適用(A)」をクリックしてください。

ハイパーグリッド

ハイパーグリッドには9つのWindows機能がります。この9つの機能は1つの画面上で選択できるので1クリックで簡単に使用できます。

上記の手順と同じように、いずれかのマウスボタンをハイパーグリッド機能として選択してください。ハイパーグリッドの使用の際は、ハイパーグリッド機能を割り当てたマウスボタンを押しっぱなしにしておくとグリッドが現れますので、ボタンを押したまま選択したいアイコンまでカーソルを移動させボタンを放してください。



ハイパーリンク

マウスボタンをハイパーリンクとして選択すると、クリックするだけでアプリケーションまたはドキュメントを簡単に開くことができます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。ファンクションリストに入っていないドキュメントまたはアプリケーションを選択したい場合、ファンクションリストの中から「ハイパーリンク」を選択してください。

次に、「設定(S)」をクリックしてください。「参照(R)」をクリックし、適切な登録したいアプリケーションを選んでください。選択した機能を確定する際は、「OK」をクリックして最後に「適用(A)」をクリックしてください。ハイパーリンク機能がマウスのクリックで実行可能になります。

12

ボタンのタブつづき

拡大鏡

マウスボタンを拡大機能として選択すると、クリックするだけでカーソルの周辺が拡大されます。

「ボタン(B)」の中からボタンを選択してください。そして、拡大機能を可能にするため、ファンクションリストの中から「拡大鏡」を選択してください。「設定(S)」の機能で拡大のサイズを調節することができます。最後に「適用(A)」をクリックしてください。拡大機能がマウスのクリックで実行可能になります。

その他の機能

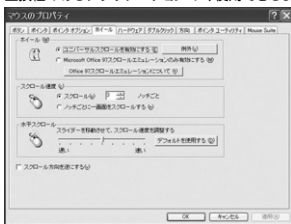
ボタン割付け機能一覧

【ボタンなし】	Esc
第1マウス(左クリック)ボタン	tab(タブ)
第2マウス(右クリック)ボタン	Shift
進む(IEの場合) / ページを下に進む(IEの場合) / ページを上に進む(IEの場合)	Alt
次のウィンドウ	Ctrl
ウィンドウを閉じる	削除(Delete)
ウィンドウの最大化	後退(Backspace)
ウィンドウの最小化	保存(Save)
クリック/オートスクロール	{スタート}ボタン
コピー(Ctrl+C)	Webブラウザ
切り抜き(Ctrl+X)	Windowsエクスプローラ
元に戻す(Ctrl+Z)	コントロールパネル
リドウ(Ctrl+Y)	プリンタ設定
マイコンピュータ	ハイパーグリッド
Enter	ダブルクリック
	ハイパーリンク
	拡大鏡

ホイール

ホイールの設定で、スクロールとホイールのボタンの設定ができます。

Mouse Suiteは、Microsoft Intellimouseと互換性があります。Intellimouseのエミュレーションを選択すると、FRSのスクロール機能はMicrosoft Office 97と互換性のあるアプリケーションのみ使用できるようになります。



Microsoft Intellimouseのエミュレーションのみを使用したい場合は、「Microsoft Office 97 スクロールエミュレーションのみを使用(M)」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

Mouse Suiteには「ユニバーサルスクロール機能」があり、ほとんどのアプリケーションのスクロールバーに使用できます。

(例:WordPerfect 97, Netscape Navigator 3.0, Microsoft Office 95)しかし、ユニバーサルスクロール機能を選択している場合、マウスはIntellimouseの拡大・縮小機能が使えなくなる場合があります。

「ユニバーサルスクロール機能」を使用可能にする場合は、ホイールの中にある「ユニバーサルスクロール」を選択し、「適用(A)」をクリックしてください。

スクロールの速度(C)

垂直スクロール、水平スクロールの速度が調節できます。

13

ダブルクリック

ダブルクリックの機能で、アプリケーション上でのダブルクリックに対する反応の速さを調節することができます。



ダブルクリックのスピードを調節する場合、ダブルクリックの速度(D)内のスライダーをクリックアンドドラッグで左右に移動させてください。左側に移動させると速度は速くなり、右側に移動させると遅くなります。マウス操作に慣れていない方は、バーを左側に移動させると、ダブルクリックの速度は遅くなるので、使い易くなります。

「デフォルト値に戻す(R)」をダブルクリックするとスピードの設定をリセットすることができます。

ダブルクリックのスピードを試したい場合は、テストエリアにあるアイコンをダブルクリックしてください。

確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

方向

この機能で、一番使い易いマウスのポジションを設定することができます。



「方向の設定(S)」をクリックするとマウスの位置の設定画面が出てくるので、これに従ってください。

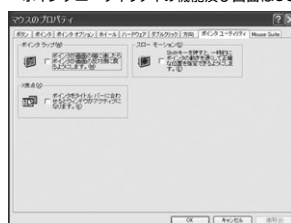
位置の設定を初期設定に戻す場合は「方向の設定をリセット(R)」をクリックしてください。

確認は、「適用(A)」をクリックしてください。

ポインタユーティリティ

ポインタユーティリティを開くと、ポインタラップ、スローモーション、X焦点の機能を設定することができます。

ポインタユーティリティの機能及び画面はOSのタイプによって異なります。



ポインタユーティリティの機能を使用可能にするために、どこかにチェックを入れ「適用(A)」をクリックしてください。

14

ポインタユーティリティつづき

ポインタラップ (W)

「ポインタラップ(W)」を使用可能にすると、ポインタを画面のはしに移動したとき自動的にカーソルが画面の反対側に現れます。

スローモーション (S)

Shiftキーを押せばなしにすると、カーソルを一時的にゆっくり移動させることができます。この機能は他のShiftキーの機能と干渉しません。

X焦点 (X)

タイトルバーにカーソルを移動すると、そのウィンドウをアクティブにすることができます。ウィンドウを切替えるとき、クリック無しで行えるので大変便利です。

Mouse Suite

Mouse Suiteのページは、アンインストールとタスクバーマウスアイコン機能があります。



アンインストールユーティリティ (U)

Mouse Suiteをアンインストールする場合、「アンインストール(U)」ボタンをクリックし、画面に出てくる指示に従ってください。

マウスアイコンをタスクバー上に表示 (S)

Mouse SuiteのアイコンをWindowsタスクバーに追加したい場合、「マウスアイコンをタスクバー上に表示(S)」にチェックマークし、「適用(A)」をクリックしてください。

ご使用上の注意

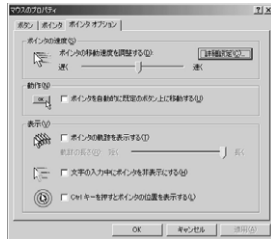
本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合に追従速度が低下し、マウスカーソルが逆方向に動くといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

Windows Meで本製品をお使いになられる場合

「コントロールパネル」 「マウスのプロパティ」 「ポインタオプション」 「詳細設定」のポインタの加速度(A)のチェックマーク(✓)を外してください。(Windows 2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

Windows Me/98 SE/98でご利用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



15

「故障かな...と思ったら」

Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. マウスがスリープモードに入っている場合がありますので、マウスを動かしても復帰しない場合は、右ボタンや左ボタンを押してください。
2. レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は6ページ参照)
3. 電池LEDが点滅している場合、電池寿命の合図です。また、電池LEDが点滅していても、電池寿命がもたれませんが、電池を交換してみてください。付属の電池(単三電池×1本)はテスト用です。(4ページ参照)
4. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

1. 本製品は、電池の消費を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かしても復帰しない場合は、右ボタンや左ボタンをクリックしてください。(11ページ参照)

Q. マウスカーソルの動きがスムーズでない。

1. 鏡などの光を反射する素材やガラスなど透明な素材の上でご利用になると、マウスカーソルがスムーズに動かない場合があります。また、規則正しいパターンの上ではトラッキング能力が低下する場合があります。
2. 他のワイヤレスと混信している場合がありますのでID番号の設定をやり直してみてください。
3. レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は0.2m - 1mの間でご利用ください。
4. 金属面の上ではワイヤレス信号が乱反射しスムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上で使用になってみてください。
5. ノートパソコンでご利用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンから取り除いてみてください。
6. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」 「インターネットオプション」 「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

最新の情報はインターネットで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

サポート情報
ドライバのダウンロード
よくある質問(Q&A)
各種別表
など、最新情報を
随時更新しています。



ご質問、ご不明な点などがございましたら、
ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

16